



9/5 (月) 災害時の避難施設協定

浦添市と「独立行政法人 国際協力機構 沖縄国際センター」「株式会社サンエー」との「災害時における一時避難施設としての使用に関する協定」締結の手交式が、市役所で行われました。

この協定は、災害時に市民を始め、外国人や観光客も避難できる施設を確保するために結ばれたもので、対象施設は、「沖縄国際センター」と「マチナトショッピングセンター」「経塚センター」の3施設です。

また、市では市内の全公共施設について一目で各施設の海拔がわかるように海拔表示を行う取組をはじめており、今後も災害に強いまちづくりを進めていきます。



8/21 (日) 郷土の歴史を学ぶ

「浦添グスク」と、復元された「浦添ようどれ」など身近にある史跡を通して郷土の歴史と文化に親しんでもらおうと、「浦添グスク・ようどれ探検」が行われました。

当日は、親子連れなど122人の参加があり、歴史クイズなどの資料を片手に、子ども達は楽しく文化遺産を探検していました。参加者は、「浦添の事をもっと知りたくて参加しました。勉強になりました」と、話していました。

また今回は、主催した「うらおそい歴史ガイド友の会」で昨年育成した「子ども歴史ガイド」のデビューとなり、緊張しながらも、参加者にわかりやすく説明していました。



8/21 (日) 消防隊員の仕事を体験したよ

消防活動への関心と理解を持ってもらおうと、「第4回でだこキッズファイヤーフェスタ」が市消防本部で開催されました。

同フェスタには、親子約200人の参加があり、消火体験、救急法体験、救助訓練体験など、消防隊員の説明を受けながら、真剣な表情で取り組んでいました。放水体験をした参加者は、「思ったより操作が難しく、いっぱい水が掛かったけれど、楽しかった」と、話していました。また「はしご車体験」の参加者は、「怖い、怖い」と険しい表情になる子どもいれば、「高くて面白い」と眺めを楽しむ子どももいて、会場を和ませていました。



浦城小女子ハンドボールクラブ

8/25 (木) 「輝くてだこ市民賞」、第3号、第4号表彰

全国大会で優勝した個人・団体などに贈られる今年度創設の「輝くてだこ市民賞」の第3号に浦城小学校女子ハンドボールクラブ、第4号に金城優也さん(沢岷小4年)が選ばれ、その表彰式が市役所で行われました。

浦城小学校女子ハンドボールクラブは7月に京都府で行われた「第24回全国小学生ハンドボール大会」で見事優勝しました。同クラブは昨年大会で1点差で準決勝敗退となった悔しさをバネに、念願の全国制覇を果たしました。

また、金城優也さんは、7月に両国国技館(東京都)で行われた「第27回わんぱく相撲全国大会」で団体の部で全国優勝を果たした那覇チームのメンバーとして活躍し、また個人でも4年生の部で準優勝という素晴らしい成績を収めました。



金城 優也 さん

(団体優勝したメンバーと共に市長報告を行ないました。)



9/3 (土) 9月3日を「くみの日」(組踊の日)に!

昨年ユネスコ無形文化遺産代表リストに登録された「組踊」の一層の普及と観光促進などを目的として、「組踊夕涼み鑑賞会」が組踊公園野外石舞台で開催されました。今回初めて行われた同鑑賞会は、誰もが知っている「ももたろう」を組踊版にし、鬼は「キジムナー」、きびだんごは「サーターアンダギー」、キジは「ヤンバルクイナ」などといった沖縄らしいアレンジがされ、会場からは笑いや拍手が湧き上がりました。来場者は「組踊は初めてだったが、踊りや動きがすばらしい。ストーリーも面白く子ども達も楽しめたと思う」と、話していました。



8/23 (火) 10年ぶりの優勝へ

8月23日に明治神宮球場で行われた東京ヤクルトスワローズ対中日ドラゴンズ戦は「浦添デー」と名打って、試合開始前に鼓衆若太鼓の演舞や花束・記念品の贈呈、上地智也さん(浦城小6年)による始球式が行われました。

今年のヤクルトは、開幕3連敗を喫し、不安なスタートでしたが、その後連勝を重ね、9月中旬時点でリーグ首位をキープしています。今年こそ10年ぶりのリーグ優勝、更には日本一が期待できます。市民の皆さんの応援をよろしくお願いします。